

研修ニュース



〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp

研修講座 B-7 「生徒指導④」を実施しました！ 「いじめと戦うプロの対応術～令和型生徒指導の極意～」 【講師】 CHIBA_T_LABO 代表 千葉 孝司さん

11 月 13 日(木)に「生徒指導④」の研修講座を実施しました。

演題に沿って、実践例とペア学習を組み合わせながら、具体的な言葉かけをご教示いただきました。千葉先生から「いかに主体的な子を育てるかが大切である」という言葉がありました。では「主体的な子ども」はいかにして育つのでしょうか。千葉先生は「①失敗を責められない安心できる環境(安心⇔承認⇔貢献)」 「②自分で選択できる環境」 「③共感がある空間・仲間」の3つが大事であると話されました。また、生徒指導につ



いて、「今はチームで行う時代。先生方のいろんな個性を組み合わせていく。指導とはその人のキャラクターに依る。若手は若手の強みを活かして役割分担をする。指導には全てのキャラクターが必要。これまでの指導でよかったから大丈夫だろうと思っていることが指導の事故につながる」ということでした。その上で「指導



ファーストから子どもの気持ちファーストへ」と話されました。子どもたちには具体的に丁寧な言葉かけが必要ということです。保護者についても「内容の事実で勝負するのではなく、保護者の心の動き」をみながら対応する術もご示唆いただきました。「いじめは100%する側が悪い。いじめを受けたと訴える側に『あなたにも悪いところがある』と言うと、訴えた側は絶望に変わる。万が一、伝えないといけなことがあれば、解決してから行う」という視点も、チームとして対応する上で共有しておくべきことだと感じました。

後半、不登校対応についても講演いただくことができました。それについても研修に参加された先生方に、ぜひ校内で還流していただきたいと思います。そして今後の「チーム学校」の実践に活かしていただきますよう、お願いします。

アンケートより【一部抜粋】

・今の子どもたちの実態や令和型のいじめなどを知ることができました。子どもの気持ちを受け止めないと解決していくこともかかわっていくこともできないなと思いました。「安心」「貢献」「承認」の輪は幼稚園でもとても大切にしています。安心できる居場所づくりや当番活動等で責任をもって活動することやいろいろな場面で認められることに取り組んでいます。就学前から一人一人に向き合い、丁寧にかかわっていきたいと思います。【幼】

・「指導ファーストから子どもの気持ちファーストへ」と学びました。子どもの気持ちに寄り添いながら丁寧な対応をしていくことが保護者にとっても子どもにとっても大切と思いました。また子どもに集中してほしくてかけている言葉の中に「緊張状態」にさせてしまっている言葉があると学びました。その言葉でストレスや不安が増え、いじめや不登校につながると知り、自分の言葉をふり返り正していきたいと思いました。【小】

・今日の研修でいじめや不登校の対応について、子どもの気持ちに寄り添っていくことが必要だと感じました。また「不安な気持ちをかかえている」ことを念頭に入れておかないといけないと改めて思いました。基本的なことですが、つい抜けてしまうので気をつけたいと思います。「緊張している」という話はすごく納得しました。明日からの声掛けの仕方を工夫していきたいです。【中】